



Special Education ご家族向け良くある質問

9/10/20

以下の質問は、学校区の Facebook ページで行われた 2 度の Q&A の中で出てきたものです。更に質問がある場合は、お子さんのケースマネージャーまでお問い合わせ下さい。

対面での指導制限

ODE は、生徒のニーズを遠隔で満たすことができない場合、生徒が 1 日 2 時間まで直接学校に通い指導を受けることについての新しいガイドラインを発表しました。**BSD** は、包括的遠隔教育(CDL)の間にオンサイトでスケジュールを組めるようなマンツーマン指導の提供を検討しましたか。

8/27 の学校区ガイダンスより：現在の困難な状況を考慮し、近隣の他の学校区と同様に、**BSD** は特別支援教育サービスや **ELD** サービスを受けている生徒、または **CTE** コースに在籍している生徒を、対面授業のために学校で直接指導することは現時点ではありません。その代わりに、全職員の対面授業の安全性を評価するための健康測定基準を引き続き監視し、将来に向けて効果的な実施計画に取り組んでいきます。

リソース/一般

スケジュール

子供の日はどのようなものですか。午前 9 時にログインを要求され、ずっとコンピューターの前に座っているのですか。

ODE は、**CDL** 中の教師主導による学習のための要件を確立しました。教師は、生徒のニーズを最もベストな形でサポートするライブ指導のためのスケジュールを構成することになります。また、昼食、休憩、フィットネスなどのウェルネスのための時間を含める必要があります。**IEP** チームは、**CDL** が困難な生徒のために便宜を検討することがあります。

ケースマネージャーは、実際のスケジュールがどのようになるのか、また、そのスケジュールが生徒のアコモデーションやサポートとどのように連携するのか、詳細を知っていますか。

はい。お子さんのケースマネージャーが、お子さんの IEP の実施、アコモデーション、サポートについて、また学校のスケジュールの中でどのようにサポートできるかについて話し合うためにご連絡差し上げます。

毎日のスケジュールはどのようなものですか。

特別支援教育クラスとリソースルームの教師のスケジュール情報は、各学校と学年レベルに基づいています。これらのスケジュールは現在学校区レベルで最終決定に近づいています。お子さんの教師/サービス提供者より直接保護者の方へご連絡差し上げます。

ビジュアルスケジュールを保護者へ送ってもらえますか。

ケースマネージャーは、視覚的なスケジュールを含め具体的な支援の必要性について話し合います。

スケジュールは 11 月 14 日まで（場合によってはそれ以降も）一貫したスケジュールですか。家庭でプランを立てるため知りたいのですが。

はい。CDL の期間中、可能な限り一貫したスケジュールになります。時期によっては調整があるかもしれませんが、その際はケースマネージャーがお伝えします。

生徒は頻繁に休憩を取れますか。

同時学習（教師が進行する型の指導）は、オレゴン州教育省が定めた時間に基づきます。

IEP で決められている時間は、一般教育クラスにどのように取り入れられるのでしょうか。

生徒の学年や学校にもよりますが、教師が生徒をできるだけ一般教育クラスから出さずに、生徒に特化した指導ができるようにスケジュールが組まれています。

生徒は週に何回、特別支援教育の教師に会いますか。

生徒の IEP に記載されているサービス分数に応じて、SPED のスタッフが具体的なスケジュールを作成し、共有します。

一般的な質問

課題は紙に印刷したものを受け取れますか。それともそのアコモデーションを要求するには、**IEP** ミーティングが必要なのでしょうか。

CDL はオンラインで実施されます。ただし、紙媒体でのアクティビティやレッスンが必要な場合は、ケースマネージャーが保護者と共にこのアコモデーションについて検討します。

子供がサービスを受けていますが、物理的な教科書を入手できますか。

CDL 中に必要な資料を受け取るためには、ケースマネージャーまたは校長へ連絡して下さい。

生徒の **IEP** を **CDL** のために変更できますか。

IEP は、**CDL** に合うように変更・調整します。

生徒のスケジュールを変更できますか。可能な場合は、誰に連絡を取れば良いですか。

スケジュール変更は、お子さんの学校へ連絡して下さい。

specials の科目 (**adaptive PE, technology, music**)はどうなりますか。

special 科目に関しては、各学校より情報を送付します。

学校の時間帯に保護者がサポートできない場合、どうなりますか。

ODE のガイダンスに従い、特別支援教育サービスは主に同期の提供（ライブ）となります。生徒によって非同期（録音された）サービスの方が適切な場合は、ご家族と協力して判断します。

保護者と生徒は、新年度が始まる前に **SPED** の先生と授業のリハーサルをするのでしょうか。

このリクエストには、お子さんの特別支援教育スタッフへご連絡ください。

IEP がありサービスを受けるべき生徒をでホームスクーリングをする場合、どのように機能するのでしょうか。

ホームスクーリングと連携して **IEP** を提供できるかどうかを判断するため、**IEP** ミーティングが必要となります。

生徒の参加、社交、教師へのアクセスについて保護者が心配な場合、誰に連絡すべきですか。

心配な点があれば、**IEP** ミーティングをリクエストして下さい。

リソースルームは、**IEP** の目標に向けてどのようにサポートしていくのですか。また、一般教育の教室ではどのように課題や責任に対応していくのですか。

リソースルームの教師は、生徒のニーズや特別にデザインされた指導分野に合わせて、グループ全体へ対して、また少人数のグループ、および1対1の指導を提供するためバーチャルセッションをスケジュールします。一部のサービスは一般教育の時間外に提供されることもあります。生徒のニーズに応じて一般教育へのプッシュイン（一般教室内のサービス提供）で提供されることもあります。

ハイスクールでは **4x4** スケジュールを採用するそうですが、リソースルームの授業はどのようになりますか。

4X4 スケジュールでは、生徒は4科目のうちの1つとして **learning strategies** または **Access Tutorial** が時間割に組み込まれます。**Access Tutorial** の時間を利用して、特別にデザインされた授業を受けることができます。

CDL 期間中に成功するためのどのような新しいカリキュラムが採用されていますか。学校区では、春に比べて **CDL** 期間中の方が利用しやすいように、現在のカリキュラムに関する具体的な研修をスタッフに提供しています。

504 プランを持つ生徒にとってアコモデーションはありますか。

504 プランに関する質問はお子さんの学校のカウンセラーまでお問い合わせ下さい。

504 は特別支援教育プログラムの一部ではありません。

保護者向けトレーニング

BSD は生徒の **CDL** の支援に苦勞している保護者のために何かトレーニングやサポートを提供しますか。

[Family Toolkit webpage](#) にて保護者向けのリソース、ビデオ、ガイダンスをご覧ください。

ヴァーチャルプラットフォーム、Zoom

授業には **Zoom** の使用を継続しますか。

学校区では **Zoom** の使用を継続します。

IEP ミーティングや評価はどのように行われますか。

IEP ミーティングは、ご家族にとって最適な方法に応じて Zoom または電話で実施します。学校区は評価計画に取り組んでおり、それらはバーチャルで完了できる評価や、ODE のガイダンスに基づく代替的な評価方法を対象としています。

タッチ式の読み書き/スペルなど、学習を補助するためのアプリやサブスクリプション、テクノロジーはありますか。

生徒には、CDL にアクセスするために必要なテクノロジーが提供されます。アプリは各生徒の学年やクラスに合わせて用意されています。懸念事項や必要なアコモデーションについては、生徒のケースマネージャーに連絡して下さい。その他の [apps](#) は、学校区の全ての生徒が利用できます。

生徒がより集中できるように大きなモニターを使えますか。

現時点ではお貸しできる大型モニターはありません。

無料のホットスポットをネット接続のため利用できますか。

無料ホットスポットの情報は、[Internet Access for Families](#) をご覧下さい。

生徒の課題提出の管理にはどのオンラインプログラムが使われますか。

学年により異なりますが、学校区では Seesaw と Canvas を使用します。

特別支援教育サービス

外部のサービスプロバイダーのサービスは受けられますか。(例：NWRESD など)

生徒の IEP に記載されている全てのサービスは提供されます。

どの特別支援教育サービスを受けることができ、またどのようなものになりますか。

ODE のガイダンスにより、ほとんどの特別支援教育インストラクションは同期（ライブで）提供されます。ご家庭で同期指導を受けることができない場合は、IEP チームは可能な限りの選択肢を検討します。スタッフは、グループ全体、少人数グループ、およびマンツーマン指導を提供するためバーチャルセッションをスケジュールし、生徒のニーズや個々の生徒の IEP に基づいて特別にデザインされた指導の分野に応じて適切な指導を行います。

ビジョンサービスはどのように行われますか。

ビジョンやその他の NWRESD サービスは、引き続き NWRESD 所属の教師によって提供されます。

サービスはどのように同期（ライブで）提供されるのですか。また、なぜこのやり方を選んだのですか。

ODE のガイダンスでは、特別支援教育サービスは主に同期（ライブで）提供されるべきであるとされています。私たちはご家庭と協力し、非同期のサービスがより適切な場合はお子さんの状況に応じて判断します。

今年度は春の遠隔教育とはどう違うのですか。

今年度の CDL は、ODE による指導要件と各レベルのスケジュールに基づいて異なります。2019-20 年の遠隔教育とは異なり、特別に設計されたインストラクションと関連サービスは、主に CDL 中には同期（ライブで）提供されます。これは、生徒が同期学習および教師主導のオプションへのアクセスが増えることを意味します。

生徒の説明責任を果たしてくれたり、必要な時に家庭教師をしてくれる人はいますか。

生徒の課題の完成が心配な場合は、生徒のケースマネージャーに連絡して下さい。特別支援教育では家庭教師や個別指導はありませんが、必要な分野で特別にデザインされた指導を行います。

遠隔学習では、学習戦略の管理は違ってくるのでしょうか。

ミドル・ハイスクールの生徒は、Learning Strategies、一般授業でのプッシュイン方式、水曜日の授業など、ニーズや授業のスケジュールに合わせてそれらを組み合わせ、特別な指導を受けます。

ケースマネージャー

子供にケースマネージャーがいるとどうしたらわかるのですか。

IEP を受けている各生徒には、ケースマネージャー、特別支援教育サービス提供者（または専門プログラムの教師）が割り当てられており、ミーティングのスケジュールを立て、IEP を作成し、サービスを提供・監視します。ケースマネージャーやその他のサービス提供者は、9月8日までにご家族にお伝えします。その際に、IEP についての懸念事項をお聞かせください。まだ連絡がない場合は、ご家庭から学校へ連絡して下さい。

ケースマネージャーとはいつミーティングができますか。

ケースマネージャーとは、学校開始後9月14日からミーティングが可能です。

IEP ミーティング、評価(Evaluations)、該当(Eligibilities)

IEP が個別の計画であるのなら、全ての生徒に対してデザイン・一般化された概念を通して、どのようにして生徒の個々のニーズを満たすことができるのでしょうか。

CDL 中の指導は、物理的な教室での指導とは当然ながら異なって見えますが、生徒の個々のニーズは **IEP** の中で特別に設計された指導によって対処されます。

オンライン学習で **IEP** はどのように実施されるのでしょうか。

スタッフは、生徒のニーズや特別にデザインされた指導の分野に応じて、グループ全体、少人数のグループ、または 1 対 1 の指導を提供するために、バーチャルセッションをスケジュールします。特別支援教育のスタッフは、その裁量でセッションを録画することができます。

IEP レビューの途中で学校が閉鎖になってしまいました。**IEP** レビュー/評価はいつ再開されますか。

学校開始後に、生徒のケースマネージャーから連絡を差し上げます。その際に必要な **IEP** ミーティングのスケジュールを立てます。**IEP** ミーティングは 10 月中旬までに行われるようスケジュールされる予定です。

子供が特別支援教育へ該当するか否かを判断する学校区ガイドラインの最新情報はありますか。

プレースメントに関する決定は、引き続き生徒の個々のニーズに基づき、**IEP** チームによって行われます。これは **CDL** 中も変わりありません。

IEP を作成する必要がある場合、どのように進めていけばいいのでしょうか。

お子さんに特別支援教育サービスが必要かもしれないと思われる場合は、お子さんの学校の校長またはカウンセラーに連絡し、特別支援教育サービスのプロセス開始について相談して下さい。特別支援教育チームは、あなたの懸念事項について話し合うためのミーティングから開始し、特別支援教育プロセスに沿って進めて行きます。

特別プログラムクラスルーム

生徒には教師との時間がどのくらい与えられますか。生徒はエイド（アシスタント）やスペシャリストと一緒に過ごす時間はありますか。

2019-20 年の遠隔教育とは異なり、特別にデザインされたインストラクションと関連サービスは、主に **CDL** 中は同期で（ライブで）提供されます。教師、パラプロフェッショナル、またスペシャリストが、生徒の **IEP** に基づいて特別にデザインされた指導を行います。

どのような学用品が必要になりますか。

専門プログラムでの具体的な学用品については、生徒のケースマネージャーにお問い合わせ下さい。

インクルージョンプランを持つ生徒の場合、**CDL** はどのように機能するのでしょうか。

専門プログラムで特別支援教育サービスを受ける生徒は、**IEP** とインクルージョンプランの不参加の正当化 (**Nonparticipation Justification**) に従い、一般教育および専門プログラムのクラスの組み合わせでスケジュールを組むことになります。一日の大半が専門プログラムである場合、専門プログラムの教師は、指導とサービスを提供するために特定のスケジュールを作成することになります。**IEP** チームは、生徒が **CDL** のために一般教育で多かれ少なかれ成功を経験できる場合、インクルージョンプランを変更することに同意することができます。

ハイブリッドモデルに戻った場合、特別支援教育の生徒にとって学校はどのようなのか、情報はありますか。

具体的な情報は、ハイブリッドモデルになる時点で共有します。

一般クラスだけでなく、特別支援教育の生徒の課題量はどのようにサポートされますか。

CDL 中の課題完了で困っている生徒のため、これらの懸念に対処する最善の方法は、**IEP** ミーティングであると考えられます。以前に一般クラス内での専門プログラムのスタッフからのサポートがあった場合、そのサポートは異なって見えるかもしれませんが、継続されます。

CTP の生徒のプランはどうなっていますか。なぜケースマネージャーが変わったのですか。

CTP のケースマネージャーは、スケジュールを確認し **CDL** の間に提供される **IEP** サポートやサービスについて話し合うために、ご家族や生徒に直接連絡を取ります。スタッフや生徒の人数が変わると、ケースマネージャー数も変わることがあります。

追加の大人による援助

IEP で 1 対 1 のエイドサポートを受けている生徒に対して、”**CDL** の設定で必要とされるかもしれない追加の大人のサポート”とはどのようなものなのか説明して下さい。大

人の（親以外の）サポートとは、**CDL** ではどのようなもので、どのように提供されるのでしょうか。

生徒のニーズによって異なります。生徒が教育を受けるために必要な場合は、特別支援教育の教師が指示しグループ全体、少人数グループ、または個人指導を通して、パラプロフェSSIONALによるサポートが提供されることがあります。すべてのサービスはリモートでの提供になります。

パラプロフェSSIONALによる一対一でのサポートについて説明して下さい。

追加の大人による支援のためのアコモデーションは、生徒のニーズに基づいて IEP チームが決定します。IEP チームは、データと評価に基づいて大人のサポートの必要性を判断します。もし生徒が 1 対 1 の大人のサポートを IEP で指定されている場合は、IEP チームと協力して、そのサポートが CDL 中も必要かどうかを判断します。チームは、学校が始まる前に IEP のサポートについて話し合うためにご家族へ連絡を取り、会議が開かれるまで生徒が教育を受けるために必要なサポートを実施します。IEP への修正は 10 月中旬までに行われます。パラプロは、IEP にこのアコモデーションがあり CDL でこのアコモデーションを継続して必要としている生徒のために、リモートで生徒をサポートすることができます。

機器/アコモデーション

CDL の間、教室にあるサプライやフィジット（触って気を落ち着かせる物）に生徒がアクセスできますか。

学校チームがご家庭に連絡を取り、IEP に記載されている機器や道具（disk sits, TheraBand's, fidgets, wobble chairs, vision equipment）が、CDL 中に教育に必要なものかどうかを判断し、可能な範囲で提供します。お子さんが CDL で教育を受けるために追加のサポートが必要だと思われる場合は、お子さんのケースマネージャーに連絡して相談して下さい。

関連サービス/アシスト技術

全ての関連サービス提供者（モーター、SLP、心理、視覚、DHH）は、生徒のニーズや特別に設計された指導分野に応じ、グループ全体、小グループ、または 1 対 1 の指導を提供するために、バーチャルセッションを予定します。IEP に記載されているアシスト技術は、可能な範囲で家庭に提供されます。生徒が教育を受けるためにアシスト技術が必要かどうかを判断するためには、評価(evaluation)が必要です。

スピーチはどのように提供されるのですか。グループでの **zoom** ミーティングですか、それとも一対一ですか。

言語聴覚士（**SLP**）は、生徒のニーズや特別に設計された指導の分野に応じて、グループ全体、小グループ、または 1 対 1 の指導を提供するために、バーチャルセッションをスケジュールします。

作業療法士（**OT**）や理学療法士（**PT**）とのコミュニケーションやサポートはありますか。

IEP で **OT/PT** サービスを受けている生徒の場合、モーターチームのメンバーがケースマネージャーと協力して、**CDL** 中にどのように目標、アコモデーション、サポートが実施されるかを決定します。

リモート学習を支援するためのアシスト技術にはどのようなものがありますか。

アシスト技術サポートは、生徒のニーズを判断するための評価によって決定されます。全ての生徒に利用可能なもの以外に利用可能な一律のサポートはありません。これは、**CDL** のために検討すべき最初の選択肢です。保護者は、生徒のケースマネージャーに連絡して、生徒が教育を受けるためにどのような支援技術サポートが必要かを相談して下さい。

子供の **IEP** には **AAC** デバイスの評価を受けると書いてありますが、これはオンライン教育でも利用できるのでしょうか。

学校区では、**CDL** 中に可能な範囲で未完了のアセスメントを実施します。評価の中には、**CDL** 中に完了できないものもありますのでご了承下さい。個別の評価については、学生のケースマネージャーと相談して下さい。**AAC** 装置の使用を推奨する場合は、装置を使用できるように手配します。